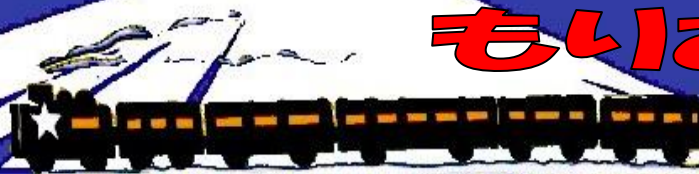




The Y's MEN's CLUB of

★
もりおか



<VOL133.2019.1>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	Moon Sang Bong (韓国)
アジア地域会長	田中 博之 (日本)
東日本区理事	宮内 友弥 (武蔵野多摩)
北東部長	涌澤 博 (仙台青葉城)
もりおかクラブ会長	三田 庸平

「私達は変えられる」
「アクション」
「為せば、成る」
「チャンス到来、我ら北東部から世界へ」
「繋がりを大事に、見据える世界の扉」
副題「ワイズの明るい未来を見つけましょう！」

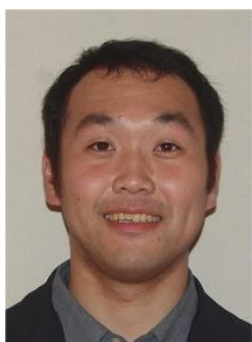
今月の聖句 ヨブ記41章9節

「一つの盾はその仲間に結びつきつながりあって、決して離れない。」

会長	三田 庸平
副会長	長岡 正彦
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	浅沼 慧 (しどう)
	中村 渉 (チャン)

2月定例会のご案内
日時 平成31年2月9日 (第2土曜日) 18時30分
場所 盛岡北ホテル2F。
会費 2,000円
第二例会 2月15日(第3金曜日) 18時30分
場所 駅前通り。「じよ舎」

三田会長巻頭挨拶



三田会長

寒さが一段と厳しくなってきた
いる盛岡。平地にはほとんど雪
が無く少し寂しい気がします。寒
さが増すと同時にインフルエンザ
が大流行しています。仕事柄イン
フルエンザの患者さんと関わるこ
とが多い時期ですが、かかって
ないのが不思議です。

さて、もりおかクラブの例会での
卓話やゲストの招待からの入会者を増やしていくのが、課題で
す。僕自身も少しずつでも力になり、入会者を入れていかなけれ
ばと感じております。また、現会員の皆さんの出席が多いのには
感謝しかありません。新年の目標をしっかりと持ってやっていけ
ればと思います。

来月にはもりおかクラブが学生リーダーを招待し、そば打ち体
験が行われます。毎年恒例の行事ですが、様々な形でYMCAと
の交流をして元気をもらえたらと思っています。今年はどうなそ
ば打ちになるのかワクワクします。

1月新年定例会の報告

平成31年1月10日(木) 盛岡、北ホテルにて開催、参加者
三田、井上、大関、中原陽子、長岡、濱塚、村上、魚住、浅沼(敬
称略)。ゲスト、尾河芽生さん(ビリケン)、石川万里子さん(ジ
ーコ)、東彩由海さん(マックス)以上12名の参加で開催されまし
た。

明けましておめでとうございます。平成31年を迎えて、新年最
初の定例会を開催いたしました。井上優子メネットがインフルエ
ンザでお休みです、全国的に流行しているインフルエンザです、
予防をお忘れなく。今回も3人のリーダーたちが出席してくれ
ました、ありがとうございます。

日本 YMCA 同盟主催のインドスタディツアーに盛岡 YMCA の
尾河芽生さん(ビリケン)と東彩由海さん(マックス)が参加するこ
とが正式に決まり、その報告と費用の支援をお願いされました。
毎月行っているニコニコ献金はリーダーの活動費にあてていま
すが、それ以外にも特別な献金、ファンドの収入などで支援して
きたいと考えております。昨年からはじめた富士宮やきそばの販
売収益などがそれに当たります。まず、もりおかクラブの財政を
健全化して、ユース委員会への献金、盛岡 YMCA リーダーへの
支援、お金はいくらあっても困ることはありませんので、春が来

たら今年もファンド資金を確保する活動を行って行きましょう。皆様のご協力をお願いいたします。

もりおかクラブの会長は平成生まれです。その他の会員は昭和生まれです。今年、平成天皇が退位して、皇太子が新天皇に即位しますが、元号も変わります。どんな元号になるのかワクワクしますね。昭和～平成～〇〇、及川メン、井上メン、大関メン、村上ウイメン、中原メン、の長老組でさえこの枠組です。長生きしてさらに次の元号まで経験しましょう。

今年の抱負などを各自1分スピーチなどをして例会は終わりました。

宮城県仙台地区合同新年会に参加しました。

1月13日に行われた合同新年会に参加して来ました。もりおかクラブからは井上メンと三田が出席しました。くじ引きで席が分けられていきました。様々な方々とお話し、勉強するばかりです。今回はクイズ大会も行われ、商品としてお菓子を頂きました。飲んで話して実のある新年会でした。より多くの方々と飲んで話しをするのはすごく楽しいなと改めて思いました。盛岡クラブも会員を増やし実のある例会に出来るようにしたいなと思いま

盛岡 YMCA 新年会に参加しました。

1月27日、盛岡 YMCA 新年会が開催されました。冬休みが終わり、一連の冬のキャンプが一区切りついたのでお待ちかねの新年会です。もりおかクラブからは、井上ご夫妻、長岡、千葉。中原陽子牧師の5名が参加、奥様のインフルエンザで看病中の大関さんは欠席でした。

井上さんの乾杯で宴会のスタートです。恒例の全員でのグラス合わせはやくても10分かかります。立ち上がり移動してのグラス合わせです。あちこちから「今年もよろしく～」「かんぱ～い」と声が上がります。この瞬間からワイズメンは若いエネルギーの充電に入ります。今年もよろしくね。

1年生、2年生のリーダーの名前を覚えるのがたいへんです。寄る年波で、顔と名前が一回では記憶できません。顔にインパクトがある子でも、肝心のリーダー名が覚えられません。今回確実に覚えられたのは、アラレちゃんによく似た、ハイジの友達の

SDGsへの取り組み

先月の特集でSDGsをご紹介しましたが、多種多様に渡るため正直何をどうしたらいいのか具体的にはよくわからなかったのですが、もりおかクラブがいままで取り組んで来た、わかしお石鯿の販売は、14番、「海の豊かさを守ろう。海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する。」に密



接に関わっていると思います。海の豊かさを守るためには、海、川の汚染を防がなければなりません。ようは水の汚染をどう防ぐのか、野生動物が水を汚しているという話を聞いたことがあり

ました。皆様今年1年よろしくお願ひいたします。



2019年1月、第一例会集合写真。明けましておめでとうございます。

した。



仙台4クラブ合同新年会の様子

「クララ」さんだけかな。「おむすび」さんや、「ほや」さんがいたけど、次に顔をみてリーダー名がでてくるか自身がありません。

クラブの例会に数名でゲスト参加しておる時とは全く違った顔をこの場では見せてくれます。やはりワイズの例会では緊張しているのだな、と言う事がよくわかります。この歳で大学生と親しくお付き合いができるのが楽しくてなりません。またご招待ください。出席します。



新年会楽しかった～、また呼んでくださいね。

ません。水を汚しているのは人間だけです。ならばせめて日常生活を送る上で、水を汚さない活動が望まれます。そのために「わかしお石鯿」だと思いますが、ファンド開始の頃はそんな大げさな事を意識していた訳ではありませんでしたが、今回SDGsの話聞いて、わかしお石鯿の普及をしていたことは環境保全という面でもとても良いことだと思いました。

掲載写真右を見てください。宮古市重茂を襲った津波の写真です。湾の堤防を超えて港湾施設に襲いかかる瞬間です。恐ろしい映像ですが、波の色はマリブルーで綺麗な青色です。この重茂地区は40年前からわかしお石鯿以外の合成洗剤を使わない事を申し合わせ、海の環境を守り続けた地区なのです。残念ながらその他の地区を襲った津波の映像はヘドロに汚れた黒い波でした。これはわかしお石鯿を使い続けた結果でした。

このように、主題にある通り持続可能な運動が環境をまもるのです。もりおかクラブの販売数量がどれだけ環境を守っているか

はわかりません。しかし今後もわかしてお石鹸販売は「持続可能」な水を守る運動であると考えます。どうぞ、クラブ会員の皆様、

全国のワイズメン、ウィメンの方々、もりおかクラブ販売のわかしてお石鹸をご使用くださいませ。

「ズリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

1月の出席率	8/14	57 %	ゲスト3名	ビジター0名	メネット2名
メーキャップ	1	名		1月切手	10 g 累計 333 g
1月のにこにこ	0	円 累計	4,610 円	1月プルタブ	115 g 累計 22,350 g
1月 石鹸	1,000	円 累計	3,610 円	りんご	12,400 円 累計 17,010 円
1月 献金		円		ファンド合計	17,010 円

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

1月のハッピーバースディ 1/3 中原 真澄メン、1/3 濱塚 有史メン、1/31 根内 純メン
お誕生日おめでとうございます。

東日本大震災アーカイブス

2013年6月掲載

全優石津波記憶石プロジェクト Zenyuseki Memorial Stone of the Tsunami Project

全優石提供「津波記憶石」のご紹介は今回三回目です。大船渡市綾里(りょうり)駅前に建てられた石をごらんください。碑文のメインは「津波てんでんこ。」ここ綾里地区は高さ10mの防波堤がありました。3.11の6日前に1mの津波を観測し、それを私は高台から見ていました。押し返しては返し、何度も繰り返す津波に恐怖を感じました。地元の漁協職員は、「10mまでは大丈夫、今回はなんともない。」と話しておりました。その通りで、なんの被害もありませんでした。しかし、この防波堤が住民の過信を生んでいたのです。過去の津波で、流された地区には家を建てるなという先人の教えに従って、高台に家を建てた人々は今回の津波でも無傷でした、月日が流れ防波堤が完成し、やがて人々



は暮らしに便利な平坦で港に近い土地で暮らし始めました。海の恩恵を受けるためです。そこへ、今回の大津波。10mの防波堤は何の役にも立ちませんでした。人間が作った防災建築物のなんと無力なことか。先人たちは、「津波てんでんこ。」という教えを残しておりました。年寄りの教えで、「津波は必ずやってくる、津波の後の復興には若い力が必要だ、年寄りにかまうな、若い力を残せ。」この意味を学校の教師や、若いお父さんが言ったらきっと批判されるでしょう、お年寄りが自ら若者に言い聞かせているから重みがあります。今回の津波記憶石にも、この「津波てんでんこ。」の文字がメインに刻印されています。「忘れてたまるか、3.11」全優石津波記憶石プロジェクトと、私たちワイズメンの意識は同じです。「頑張れ綾里」、津波を忘れるな。「津波てんでんこ。」です。



三陸鉄道線綾里駅前津波記憶石



被害直後の綾里漁業協同組合の製氷工場

天然記念物「カモシカ」ってどんな動物なの？



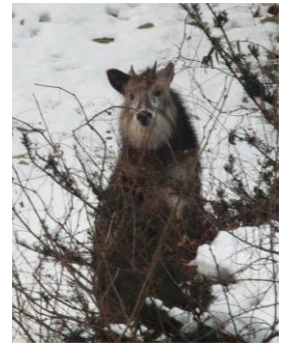
「モシカ」と「モニカ」栗の木の土手で振り返っています。

長岡家の周辺に出没するカモシカって一体どんな動物でその生体はどんなものなのだろう？ 今までは単独で登場していたカモシカの「モシカ」くんは、昨年秋以来、2頭で登

場し始めました。私は、2頭目のカモシカに「モニカ」と名付けて、再登場を待っています。

日本アルプスをはじめとした、山岳エリアに生息する「カモシカ」。その生態は謎も多く、誤解されていることも多々あります。日本の固有種で天然記念物にも指定されているニホンカモシカの生態についてご紹介します。愛くるしい眼差しとモフモフした動物「カモシカ」。日本アルプスや八ヶ岳をはじめとして、全国各地に生息していますが、登山をしていてもなかなかその姿を見ることができません。なぞに包まれたカモシカの生態と、つい誰もが思い込みがちな誤解について紹介します。

カモシカの中でも「ニホンカモシカ」は日本の固有種で、北海道と中国地方を除いた本州、四国、九州の山地や丘陵地帯に生息しています。「氷河期からの生き残り」とされ、岩場や急斜面のある森林に棲み、低木の葉、芽、小枝、花、実を食べています。九州地方と四国地方のニホンカモシカは生息数が減少、環境省レッドリスト2015年で「絶滅の恐れのある地域個体群」に指定されています。ニホンカモシカは、ウシ科の動物。シカ科のニホンジカ等とは別種で、生態なども異なります。ニホンカモシカはなわばりを作り、単独で行動、4頭程度以上の群れを作ることはありません。オスにもメスにも15センチほどの短い角があり、全体に、白～灰色、灰褐色をしています。ニホンジカはオスにだけ枝分かれした2本の角が生え、茶褐色。群れを作り、群れで行動しますので、生態が全く違うのです。細くすらっとした脚を「カモシカのような脚」と誉め言葉としての表現がありますが、実際のカモシカの脚は山岳地帯で過ごすこともあってがっしりとしてい



モシカの独り言 「ん、あなたは誰？ 何か用？ 見ないでよあっち行って。」
 るんです。九州や四国では生息数が減り絶滅の恐れがありますが、長野県など生息数の増えてきた地域もあり、登山等の際に遭遇する可能性もあります。好奇心が強く、逃げることもなくこちらをじっと見ていることもあるようです。カモシカは人を襲わない動物で、帰巢本能もありますので、出会った場合には、そっと見守り、刺激したりしないようにしましょう。

復活！ 川目小学校の氷のモニュメント

3年前に廃校になった盛岡市立川目小学校、山王小学校に併合しました。毎年恒例になっていた小学校前の氷のモニュメントも制作を止めて、ひっそりと寂しい冬を過ごしていましたが、地域のOBや親御さんたちが今年、モニュメントを復活させました。

雪が少なく枯れ草の土手に立つモニュメントは、少し冬の光景としては違和感がありますが、寒さに関しては普通の冬ですので、掛けた水はどんどんこおり、見事な氷柱が出来上がっていました。盛岡、冬の風物詩としての復活を歓迎いたします。日本各地で雪まつりや氷まつりが2月から開催されますが、まつりが終わった後は雪像や氷柱はすぐに壊れます、温度が上昇すると大型のモニュメントは融解して事故が心配されるからです。この標柱日中の気温が3℃を越えると、崩壊の危険がありますの



枯れ草の土手に立つ氷柱のモニュメント、後方は校舎です。

で、見られるのは1月いっぱいでしょう。見に行かれる方はお早めどうぞ。

編集後記

新年1月号のブリテンは、新年会の記事が3つ連続でした。実は、チャリティランの新年会もあったのです。こちらはボツとしました。

カモシカの記事を組んでみましたが、我が家は盛岡市内の郊外ですが、わりと市街地に使い場所にあります。こんな所にカモシカが出没するなんて、奇跡に近いのではないのでしょうか、ネットで調べたところ、山岳地帯の崖の多い所に生息と書いてあります。山岳地帯でも崖があるところでもありません。私の「モシカ」は可愛くて仕方がありません。再開を心待ちにしております。

今年も、北海道や日本海側の東北、北陸では豪雪の話題がありますが、盛岡は雪が少なく、快適な道路事情で生活しております。このまま春を迎えるとは微塵も考えておりません。案の定、昨日から朝に掛けて雪がつもりました。昨日の午後から今朝まで2回、雪かきをしました。最近テレビの映画のCMで「雪の華」が繰り返し流れてきます。29日朝の雪の華をご紹介します。



さそり、濱塚メン、三田会長、中原陽子メネット(牧師)



井上ご夫妻とリーダー達

それでは皆様また来月、長岡。